
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 12月19日～12月25日

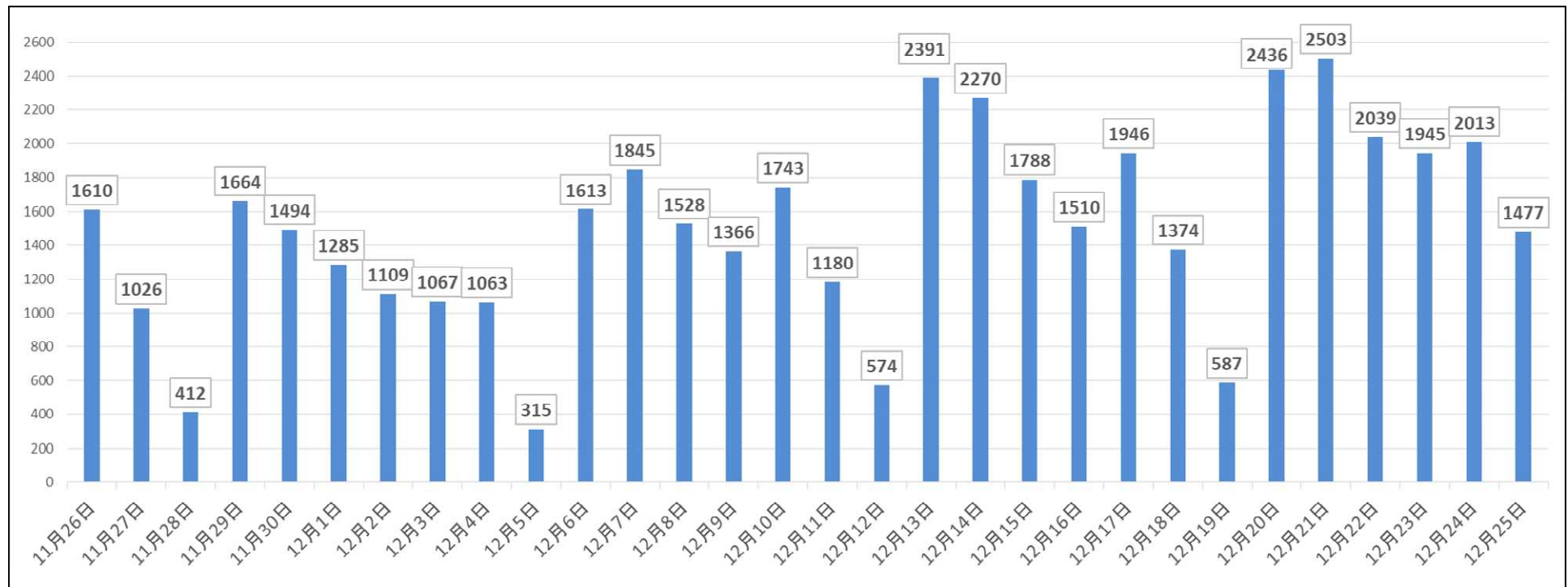
12月27日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

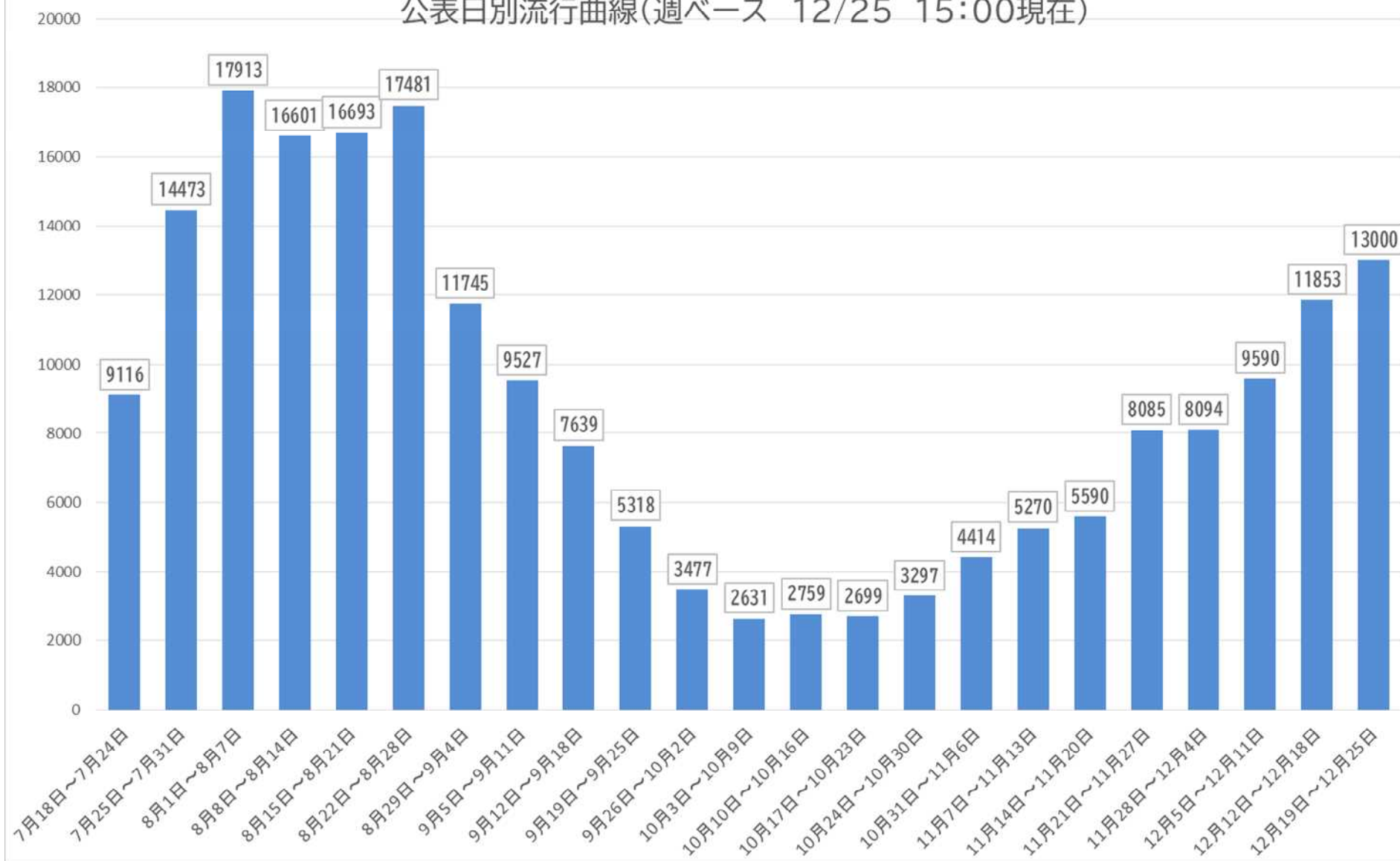
1) 県内の陽性者発生状況

	新規感染者数
今週の報告数(12/19~12/25)	13,000人
累計(12/25現在)	311,723人

2) 公表日別感染動向(12/25現在)



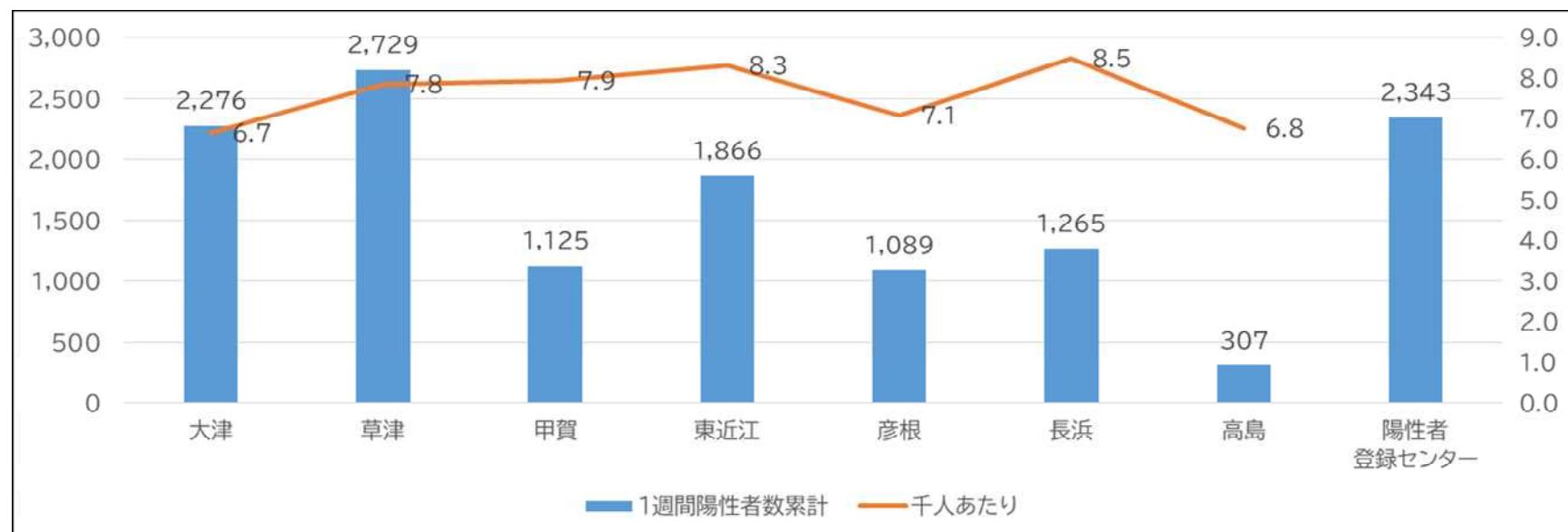
公表日別流行曲線(週ベース 12/25 15:00現在)



3)医療圏別の陽性者発生状況(12/25現在)

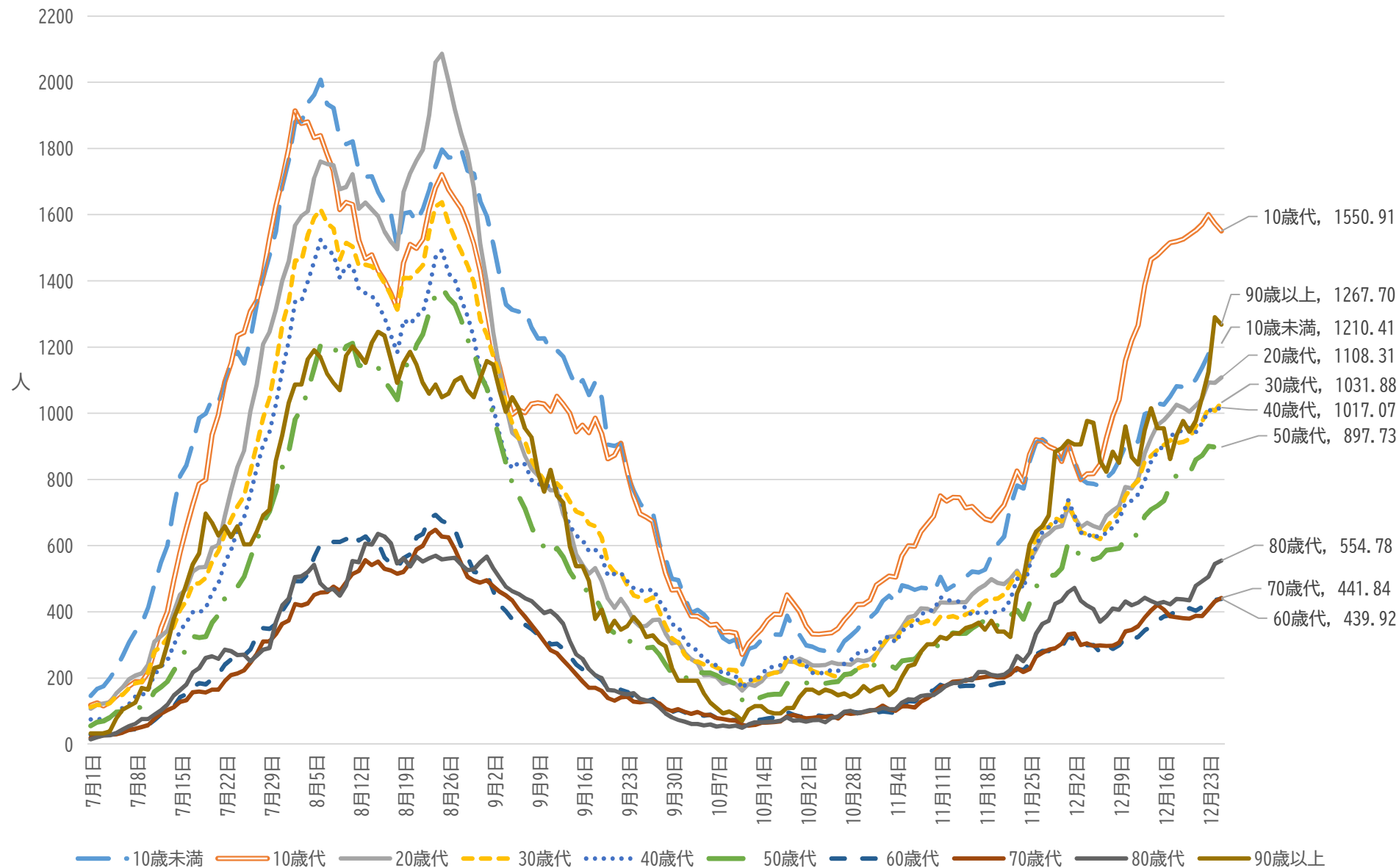
※報告医療機関の所在地別集計であり、実際の患者の居所と一致しない場合があります。

	大津 (大津市)	草津 (草津市・守山市・ 栗東市・野洲市)	甲賀 (甲賀市・湖南市)	東近江 (東近江市・近江 八幡市・日野町・ 竜王町)	彦根 (彦根市・愛荘町・ 豊郷町・甲良町・ 多賀町)	長浜 (長浜市・米原市)	高島 (高島市)	陽性者 登録センター	合計
12月19日	138	57	20	11	38	47	0	276	587
12月20日	309	598	217	400	202	265	89	356	2,436
12月21日	480	506	308	358	207	215	87	342	2,503
12月22日	416	392	179	263	189	211	44	345	2,039
12月23日	331	413	127	304	139	188	33	410	1,945
12月24日	339	455	177	315	192	205	41	289	2,013
12月25日	263	308	97	215	122	134	13	325	1,477
合計	2,276	2,729	1,125	1,866	1,089	1,265	307	2,343	13,000

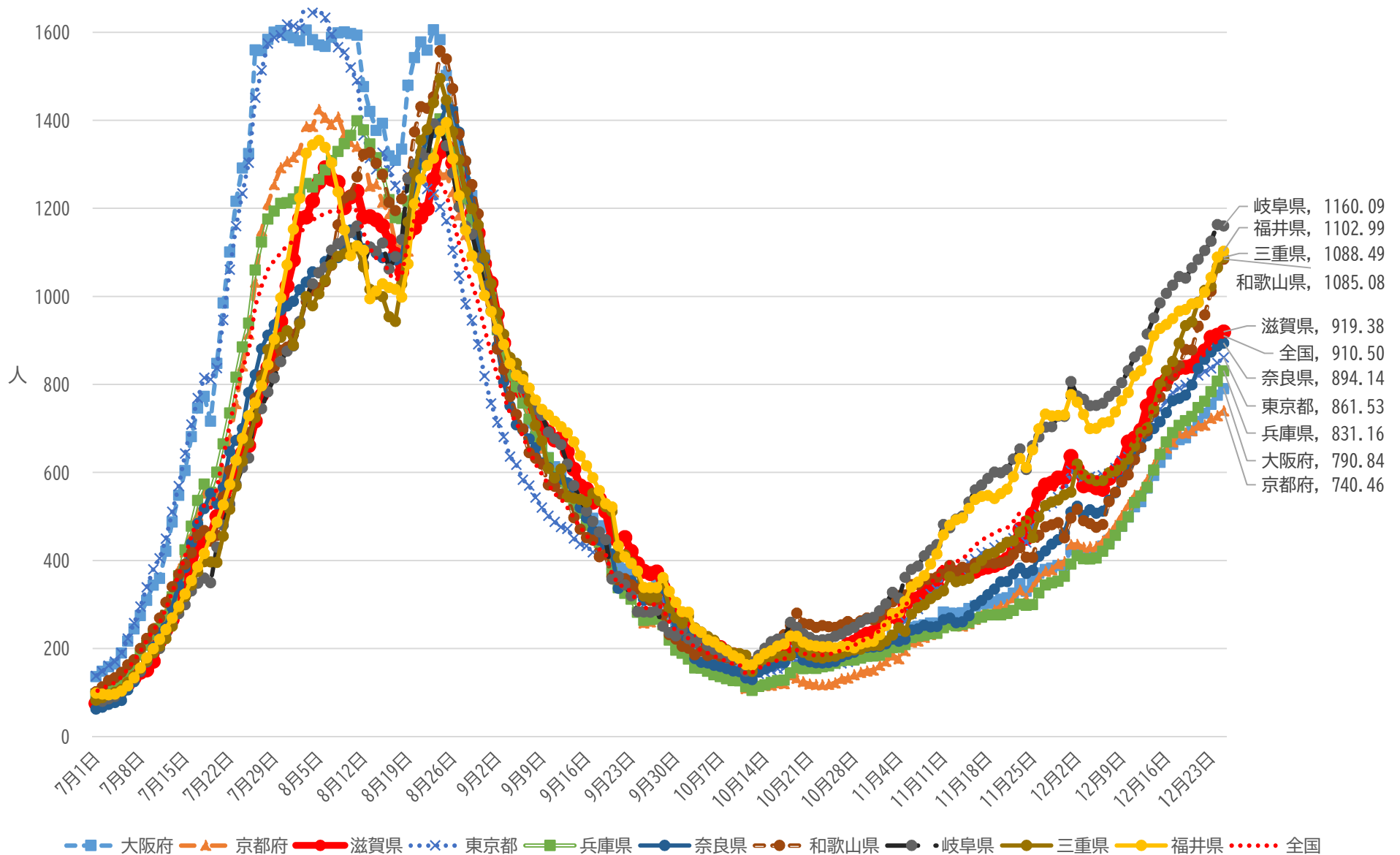


4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.7/1-12/25)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.7/1-12/25)



2、県内の感染状況・各指標の状況について(12/25現在)

1)県内の病床数および宿泊療養施設の状況

病床数	入院者数			空床数
		県内発生	その他	
501	423	407	16	78

宿泊療養 部屋数	療養者数			その他	空数
		県内発生	県外発生		
518	97	97	0	51	370

2)県内の陽性者発生状況

陽性者累計	入院患者 (県内発生)				死亡
		軽症	中等症	重症	
311,723	407	270	129	8	466

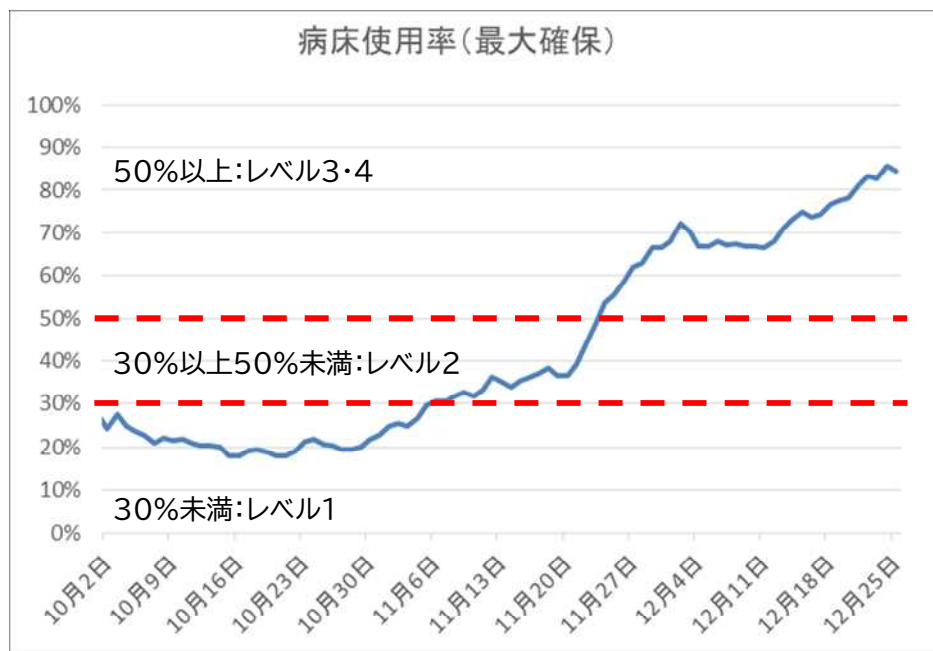
重症:ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)が必要
 中等症:酸素投与が必要

3)各指標の状況

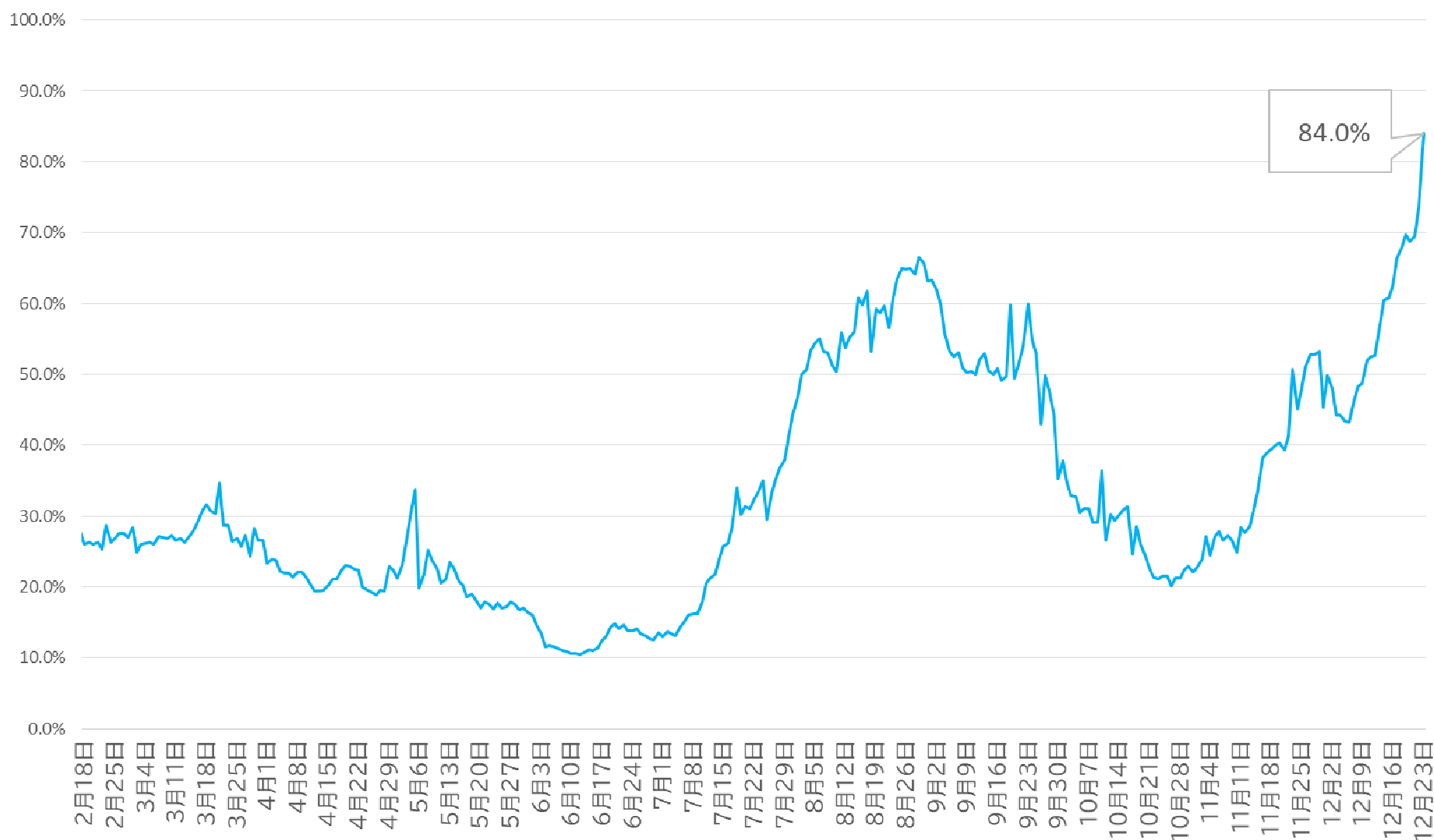
現時点の確保病床の占有率※1	84.4%
最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※2	84.4%
うち重症者用病床の最大確保病床の占有率(レベル判断指標)※3	15.4%
直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数	919.4人
直近1週間と先週1週間の陽性者数の比較※4	多い
直近1週間のPCR等陽性率※5	84.0%
PCR等検査数(直近1週間分)	15,278件
PCR検査数(累計)	1,150,041件

- ※1 現時点の確保病床の数、501床に対する割合
- ※2 ピーク時に確保予定である病床数、501床に対する割合
- ※3 ピーク時に確保予定である病床数、52床に対する割合
- ※4 直近一週間の陽性者数が先週一週間に比較し多いか少ないか記載
- ※5 報告受領件数(抗原検査を含む)に基づく陽性率(自己検査・無料検査は含まない。)

4)各レベル判断指標の推移

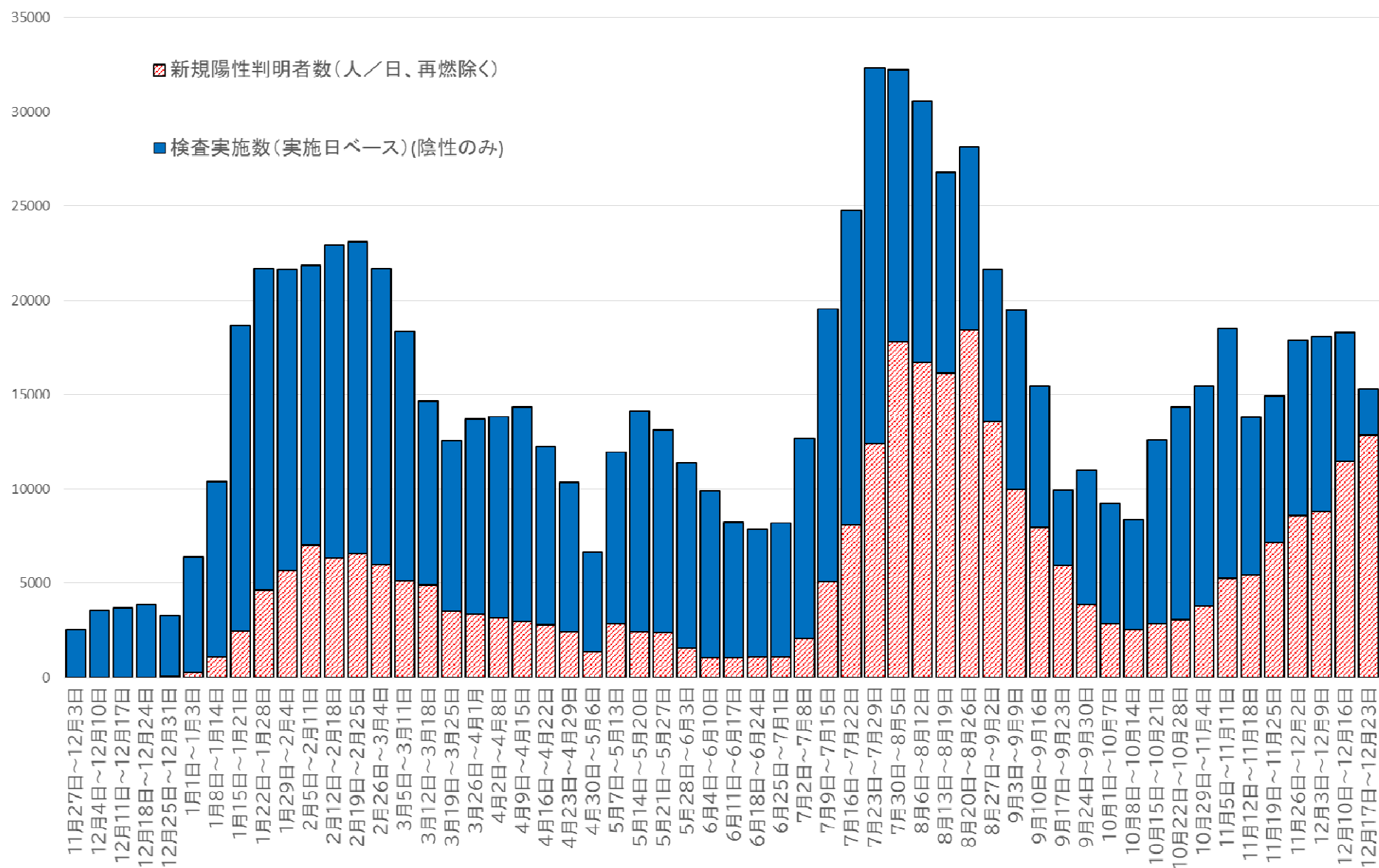


5)陽性率の推移(7日間移動平均)



陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、12月23日現在の陽性率は84.0%でした。※検査実施日ごとの報告件数（抗原検査を含む）に基づく陽性率

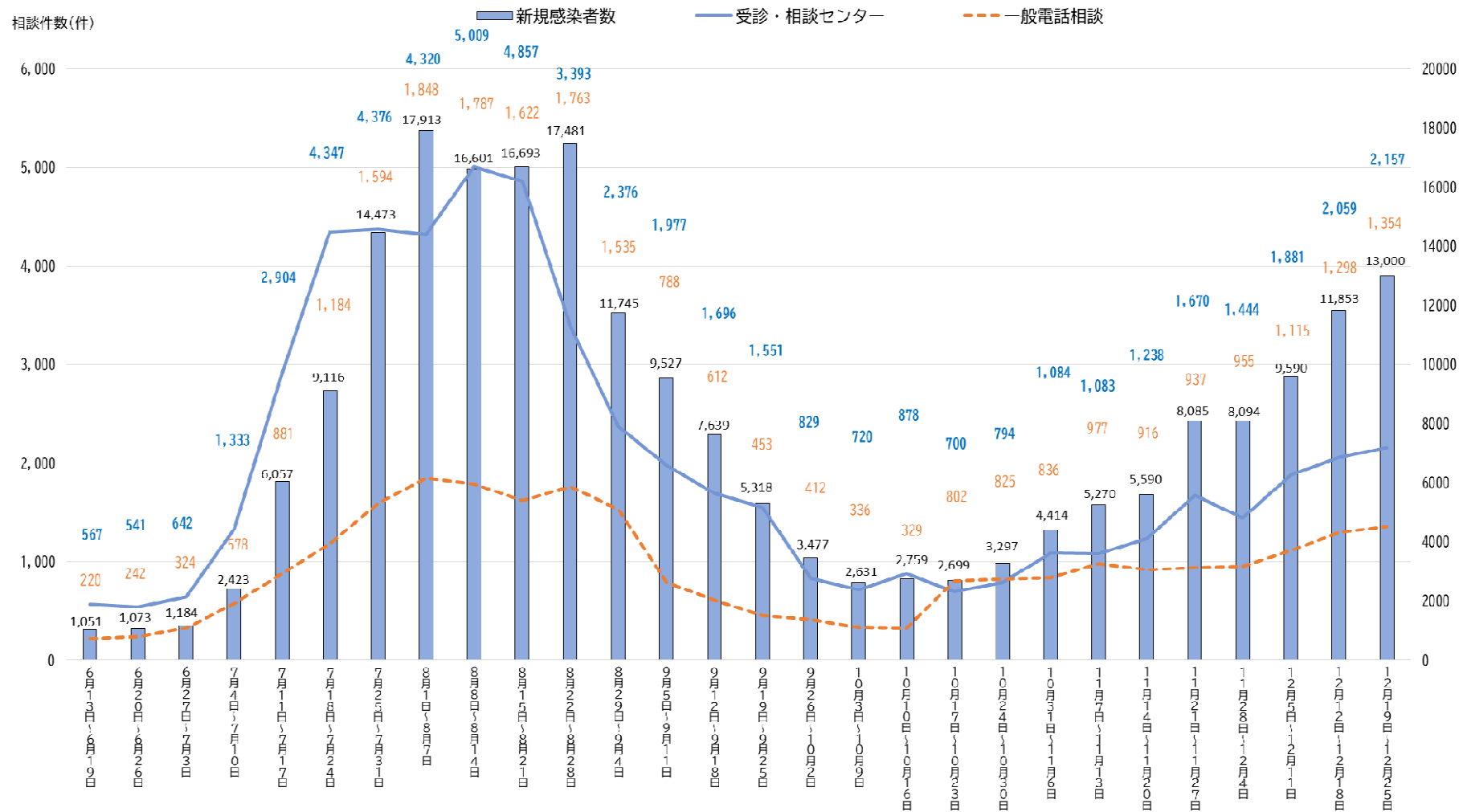
6)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



7)相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



評価(12/19~12/25の感染状況)

- 全国的に新規陽性者数の増加傾向が続いています。
- 本県でも12月25日時点で今週先週比は1.10、直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は919.4（先週より81.1人増）と増加傾向が見られています。年代別では、全ての年代で増加しており、特に10歳代と90歳以上での増加が顕著に見られます。10歳代は家族と同居している方が多いことが考えられ、他の年代への感染拡大が懸念されます。90歳以上は第7波のピークを超えています。
- 最大確保病床に対する占有率は12月25日時点で84.4%と、増加傾向が続いており高い水準が続いています。重症病床の占有率は15.4%と増加傾向が見られます。
- 年末年始にかけて、人との接触場面が多くなるため、更なる感染拡大が懸念され、更なる医療のひっ迫を招く恐れがあります。改めて、場面に応じたマスク着用、換気、手指消毒など基本的な感染対策は継続してお願いします。
- 高齢者施設等で継続して感染者が報告されています。換気が十分でない場合が多く、寒い時期で常時換気が難しいところですが、ケア時の居室や食事時など、人が密になる場面で特に気を付けて換気をお願いします。医療・介護サービスを安全かつ継続的に提供するため、また職員自身の健康を守るため、感染対策の知識を習得しそれを実践しましょう。
- 令和5年1月16日まで「年末年始ワクチン接種促進強化期間」です。ワクチンの効果は徐々に減弱するので、オミクロン株対応ワクチンを接種していない方は、この期間にもう1回のワクチン接種を検討してください。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。
- 冬期にインフルエンザとの同時流行が懸念されています。本県の第50週(12/12~12/18)のインフルエンザ定点医療機関当たりの報告数は0.05と低い水準となっています。複数の地域で流行の始まりと言われる定点当たりの報告数が1を上回ってきているため、今後の動向に注視が必要です。